東西の音楽のルーツといわれている
「声明」と「グレゴリオ聖歌」。
時空を超え、時代の奔流に流されず、
ヒトの心に寄り添ってきた音楽の源流を体感。
370年余の歴史を持つ座・座の
自然と空間に身をおきながら
この二つの源流をじっくり聴き比べてみよう。

第一部
三井寺流声明＝天台寺門宗総本山 讃衆
散華／梵音／錫杖／四智讃／仏讃／百八讃／普賢讃

第二部
グレゴリオ聖歌＝あふみヴォーカルアンサンブル
「永遠の安息を彼らに」「すべての者よ、主に向かいて喜ばん」
「鹿が泉の水を求めるように」「おお何と栄光に満てる」「舌もて語らしめよ」

座・座 古庭園 大人ライブVOL.49

声明とグレゴリオ聖歌
――体感する音楽の源流

2019
11.9
(sat.)
ながらの座・座

2019年11月9日(土) 14:00開演 終了後交流会(別途有料1,000円／20名) 会場:ながらの座・座

定員:40名 参加費:一般 4,000円、学生 2,000円(先着若干名／18歳以下) ※小学生は無料です

主催:元・正蔵坊と古庭園を楽しみ守る会(ながらの座・座) 後援:滋賀県 滋賀県教育委員会 大津市 大津市教育委員会 文化・経済フォーラム滋賀

特別協賛:中山倉庫株式会社 滋賀石油株式会社 協賛:あさ・ひる・夕ごはん 豆藤

申し込み:ホームページの申し込みフォームまたはFAX077-522-2926にて住所・氏名・参加プログラム名・公演時間・連絡先記入の上、お申し込みください。※未就学のお子さまの参加はご遠慮ください

zaza
http://nagara-zaza.net/

Photo by Chris Barbalis on Unsplash

座・座 古庭園大人ライブ VOL.49

声明とグレゴリオ聖歌
体感する音楽の源流

第一部

三井寺流声明

声明とは、仏教儀式に用いられる宗教讃歌、声楽曲のことで、わが国の音楽文化の源泉となったものです。鎌倉時代の東大寺・凝然は『声明源流記』のなかで、声明の調べを「声相清雅」にして「音体哀温」と表現しています。

三井寺の声明は、天台声明のなかでも三井流あるいは寺門流と呼ばれています。比叡山の山門派とは異なる独特の音調は、平安後期に箏や琵琶の名手として知られた妙音院師長（1138−1192年）によって整備されたと伝えられています。

その大きな特色がアタリ節です。その唱法は「波涛が巌にあたり砕け、その波は再び勢を得て大海にひくが如く」と表現されるように勇壮な音調をもつことから「三井の怒り節」と称されています。ことに四智讃や仏讃など大ユリや小ユリを基調とした声明曲によく表現されています。

こうした声明の相承は、三井寺では仏法の真髄に通じる重要な修行と位置づけられ、長声職と呼ばれる声明に優れた僧侶を中心に伝承され今日に至っています。

〈演奏曲〉

散華／梵音／錫杖
四智讃／仏讃／百八讃／普賢讃

讃衆（出演者）

福家俊彦／福家紀明／滋野敬宣／秋田幸輝／小林慶吾／加藤明信
柳田暹昭／中原賢明／久髙悠照／中村虚空／西坊信祐

第二部

グレゴリオ聖歌

グレゴリオ聖歌とは、ローマ・カトリック教会で、典礼の際歌われるラテン語の単旋律聖歌を意味します。8世紀ころからグレゴリオ聖歌と言われるようになりました。

グレゴリオ聖歌は長らく口承で伝えられていましたが、10世紀になると、後に「ネウマ」と呼ばれる記号を用いて写本として残され始めました。地方によって記号の差異はあるものの、聖歌そのものはほとんど一致しており、口承による伝承が極めて正確であったことを物語っています。

本演奏会では、聖書の言葉を伝える目的で脈々と伝えられた「グレゴリオ聖歌」と、それらにインスパイアされて作曲されたであろう、パレストリーナ、ビクトリア、ゲレーロによるルネサンス時代の多声曲、更には、バチカン訪問を果たした天正遣欧少年使節が持ち帰ったグーテンベルグ印刷機を用いて、長崎で印刷された現存日本最古の西洋音楽の楽譜「サカラメンタ提要」（1605）に収録の聖歌を組み合わせて演奏します。

〈演奏曲〉

永遠の安息を彼らに（グレゴリオ聖歌）
Requiem aeternam
すべての者よ、主に向かいて喜ばん（グレゴリオ聖歌）
Gaudeamus omnes in Domino
鹿が泉の水を求めるように（グレゴリオ聖歌／パレストリーナ）
Sicut cervus desiderat
おお何と栄光に満てる（グレゴリオ聖歌／サカラメンタ提要／ビクトリア）
O quam gloriosum
舌もて語らしめよ（グレゴリオ聖歌／サカラメンタ提要／ゲレーロ）
Pange Lingua

あふみヴォーカルアンサンブル

1998年滋賀県長浜市にて結成。当初より指揮者を置かず各団員の音楽的感性のぶつけ合いと融合をモットーに活動している。ルネサンス・バロック時代の世俗曲・宗教曲を中心に取り組みを続ける一方で、近・現代曲や日本の童謡・唱歌等、時代やジャンルを越えて幅広い楽曲を取り上げている。第19回宝塚国際室内合唱コンクールにて金賞受賞。

勝間正美 ／鈴木泉 ／中城宗子／長谷部茂子／小林祐香／清水芳子
長谷川公子／藤令子／連美千代／久保田一臣／長谷部健

2019年 11月9日（土）14:00開演 ※開場は開演30分前

会場：ながらの座・座　定員：40名

※終演後交流会（別途有料1,000円／20名／申込み要）

参加費：一般 4,000円、学生 2,000円（先着若干名／18歳以下）

ホームページの申し込みフォーム（http://nagara-zaza.net/contact/）またはFAX（077-522-2926）にて、住所・氏名・参加プログラム名・公演時間・連絡先を記入の上、お申し込みください。

※未就学のお子さまの参加はご遠慮ください

主催：元・正蔵坊と古庭園を楽しみ守る会（ながらの座・座）
後援：滋賀県・滋賀県教育委員会　大津市・大津市教育委員会　文化・経済フォーラム滋賀
特別協賛：中山倉庫株式会社　滋賀石油株式会社　協賛：あさ・ひる・夕ごはん 豆藤

ながらの座・座

「ながらの座・座」とは、登録有形文化財「橋本家住宅（旧・正蔵坊）」とその庭園を総称したものです。歴史ある環境が次々と壊されていく時代にあって、時が育んだ環境を今の時代に生かすことで次の時代に引き継いでゆけたら。そんな思いから有志のご協力を得て2011年秋より「建物と古庭園」を一体的に使い楽しむプログラムがスタートしました。

古い日本建築の持つ柔らかな空間や自然のホールともいえる古庭園を“生き物”として慈しみ、ここだから実現できるクオリティの高い様々なパフォーマンス、実験的な試みなどを積極的に取り上げることをコンセプトに、愉しみながら文化財を保存・維持することを目指しています。

〒520-0035 大津市小関町3-10
TEL&FAX 077-522-2926
MOBILE 090-8576-7999（橋本）
http://nagara-zaza.net/

- JR大津より徒歩15分
- 京阪電鉄京津線「上栄町」より徒歩7分
- 名神高速「大津」または「京都東」より車で5分、またはR1号線→R161号線で。
- コインパーキング「Times 大津日赤病院前」が座・座から徒歩3分程度のところにあります。22台駐車可です。